

■ 「(仮称)かながわSDGs取組方針(案)」に対する意見とそれに対する県の考え方一覧

■ 期間：平成30年10月25日(木)～平成30年11月26日(月)

|  |
|--|
| <意見内容区分><br>1 SDGsについて<br>2 取組方針(案)について<br>3 県の取組内容について<br>4 その他 |
|--|

|  |
|--|
| <反映区分><br>A 取組方針(案)に反映した意見<br>B 意見の趣旨が取組方針(案)に既に反映されている意見<br>C 今後の参考とする意見<br>D 取組方針(案)に反映できない意見<br>E その他(質問、感想等) |
|--|

| 延べ件数 | 意見内容区分 | 意見  | 反映区分 | 県の考え方  |
|------|--------|---|------|--|
| 1    | 3      | 身近なものと捉えてもらうべく、率先して県が関連施策を示す姿勢はよいと思う。もう一步踏み込んで、県民として何が出来るかの例示や三年間の重点期間における数値目標が示されると、より効果的で実効性があるものになるのではないか。 | C    | まずは県自らが率先して範を示していくことが必要であるとの考えから、県の施策のうち、SDGsにつながるテーマを具体例として例示いたしました。今後の普及啓発に当たっては、県民の皆様が具体的に行うことができる事例を、分かりやすくご紹介してまいりたいと考えております。<br>また、数値目標については、「神奈川県SDGs未来都市計画」でお示ししておりますので、ご参照ください。 |
| 2    | 2      | 神奈川県がSDGsに取り組んでいることは分かったが、方針を作ることによって日々の生活に制限がかかるようなことがないようお願いしたい。  | C    | この取組方針は、様々な関係者の活動を拘束するものではなく、あくまでも全ての関係者(ステークホルダー)と一体となって、世界共通の目標であるSDGsの達成に向けて、可能な限り連携・協働を図っていくためのものとなっています。  |

| 延べ<br>件数 | 意見内<br>容区分 | 意見   | 反映<br>区分 | 県の考え方   |
|----------|------------|--|----------|---|
| 3        | 1          | <p>具体例が記載されているのは良いが、そもそもSDGsが何か分かりにくい。また、県が取り組む理由が分からない。</p>   | C        | <p>県では、これまで「いのち輝く神奈川」の実現に向けて、様々な施策を連関させ、総合的に施策を推進してきており、いわゆるSDGsの理念は、県の取組、考え方と軌を一にするものと考えています。</p> <p>そのため、世界共通の目標であるSDGsの達成に向けて取り組むこととし、積極的に関連施策を推進していくことにより、政策をさらに深化させていきたいと考えています。</p> <p>また、こうした地域の課題解決が世界の課題解決につながるとも考えられることから、自治体がSDGsに取り組むことが求められているものと考えております。</p> <p>なお、今後の普及啓発に当たっては、具体的な事例集や、分かりやすい動画を作成し、県民の皆様へSDGsを分かりやすくご紹介してまいりたいと考えております。</p> |
| 4        | 3          | <p>(仮称) かながわSDGs取組方針(案)を確認させていただいたところ、県が担う役割として「旗振り」「率先」「後押し」が挙げられていますが、SDGsの17ゴール、169ターゲットに対して、神奈川県がどのように目標達成にむけて取り組むのか十分に読み取れませんでした。3つの役割を通じて、目標達成にどのように貢献していく道筋を検討されているのか、お教えいただければと思います(目標達成に寄与する事業に取り組みます、との記載はありますが、何をどうすれば目標達成に近づくのか、という具体的なイメージが書かれていないのでは、という意味です)。</p> | E        | <p>県では、これまで「いのち輝く神奈川」の実現に向けて、様々な施策を連関させ、総合的に施策を推進してきており、いわゆるSDGsの理念は、県の取組、考え方と軌を一にするものと考えています。</p> <p>また、SDGsの17のゴールすべてに、県の主要施策が関連しており、これらを進めることが、SDGsの達成につながると考えております。</p> <p>具体的には、SDGsの視点からランドデザインの主要施策同士を掛け合わせ、社会的課題の包括的解決に向けた取組を展開していくことや、方針案にテーマとして掲げたマイクロ・プラスチック問題への取組を進めることなどにより、SDGsの目標達成に寄与する事業に取り組んでいきたいと考えております。</p>                              |

| 延べ<br>件数 | 意見内<br>容区分 | 意見   | 反映<br>区分 | 県の考え方  |
|----------|------------|--|----------|--|
| 5        | 3          | 世界の海を汚すプラスチックごみが大きな問題となっています。生態系にも悪影響を及ぼしています。自治体や企業・県民は「プラスチックごみに対する取り組み」を更に強化する必要があります。そのような意味から「かながわSDGsへの取り組み」がモデル事業に選定されたことは大きな力になると思います。 | C        | <p>SDGsについては、「包括的な目標であり、具体的なイメージが掴みにくい」などの声も多く伺っています。そのため、SDGsにつながる具体的な施策を通じて、SDGsを「見える化」し、「自分ごと」ととらえることが重要と考えています。</p> <p>そのような中、鎌倉市由比ガ浜に打ち上げられたシロナガスクジラの赤ちゃんの胃の中から、プラスチックごみが発見されるというショッキングなニュースが、8月末に飛び込んできました。SDGs未来都市である本県は、これを「クジラからのメッセージ」として受け止め、世界的に大きな注目を集めるマイクロ・プラスチック問題から、SDGsの理解を広げようと、9月初めに「かながわプラごみゼロ宣言」を発表しました。</p> <p>こうした取組を通じて、より多くの方々にSDGsを「自分ごと」としてとらえていただき、「持続可能な神奈川」の実現に向けてSDGsを推進してまいります。</p> |
| 6        | 3          | かながわSDGs取組方針（案）3P「地域コミュニティ機能の再生・強化」『地域の「見守り」で、生活困窮の早期発見・防止に』について、地域を見守ることは、生活困窮のほかにも、子どもの虐待についても早期派遣・防止につながるので、追加してはどうか。                       | A        | 御意見を踏まえ、修正させていただきました。  |

| 延べ<br>件数 | 意見内<br>容区分 | 意見   | 反映<br>区分 | 県の考え方  |
|----------|------------|--|----------|--|
| 7        | 2、3        | <p>(全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsを大きく取り上げて、県だより等で詳細に県民に知らせて欲しい</li> <li>・ホームページで紹介するのは良いが、見る手段のない人をどうするのか考慮が必要</li> </ul> <p>(計画書)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2030年のイメージ図が無いと計画内容が想像しにくい</li> <li>・2030年の計画値だけでなく中間地点(2025年)もあれば良い</li> <li>・各市町村等の改善を登録(データベース)し、他の市町村に横展開する仕組み作り</li> <li>・節電、エコバッグ等県民の意識改革も大事</li> <li>・略字が多く読みづらいので注釈が欲しい</li> </ul> | A        | <p>(全体)</p> <p>SDGsの普及啓発に当たっては、ホームページのみならず、県のたより平成30年11月号及び12月号において、本県の取組を紹介させていただきました。引き続き、様々な媒体を活用して県民の皆様にお知らせしてまいります。</p> <p>(計画書)</p> <p>県では、これまで「いのち輝く神奈川」の実現に向けて、様々な施策を連関させ、総合的に施策を推進してきており、いわゆるSDGsの理念は、県の取組、考え方と軌を一にするものと考えています。</p> <p>また、SDGsの17のゴールすべてに、県の主要施策が関連しており、これらを進めることが、SDGsの達成につながると考えております。</p> <p>SDGsは2030年を目標としていますが、2012年に策定した「かながわグランドデザイン基本構想」は2025年を目標年次としております。</p> <p>また、本県は、広域自治体として市町村、企業、大学、NPO等によるネットワークを構築し、SDGsの推進に向けた異業種間交流やマッチング等を行い、各ステークホルダー(関係者)相互の連携を図ってまいります。</p> <p>さらに県民の意識改革に当たっては、「マイエコ10宣言」〈プラごみゼロ宣言ver〉を作成するなどの取組を進めており、引き続き、県民の皆様へSDGsを「自分ごと」としていただけるよう取り組んでまいります。</p> <p>なお、より分かりやすい内容とするため、注釈が必要と考えられる用語に「解説」を追加いたしました。</p> |
| 8        | 3          | <p>SDGsは、大変素晴らしい取り組みですが、あまり知られていないし、盛り上がりが少ない気がする。もっとSDGsの周知に、イベントなど広報に頑張るべきだ。大阪万博が、決まったことも契機に県内市民に、SDGsを広めて欲しい。</p>   | C        | <p>本県では、「かながわプラごみゼロ宣言in鎌倉」の開催や「エコプロ2018」へのブース出展、県のたよりを活用した広報など、様々な機会を通じて普及啓発に取り組んでおります。</p> <p>引き続き、今後作成するSDGsの普及啓発を目的とした動画や冊子なども活用しながら、SDGsを「自分ごと」としていただけるよう、取り組んでまいります。</p>  |

| 延べ<br>件数 | 意見内<br>容区分 | 意見  | 反映<br>区分 | 県の考え方  |
|----------|------------|---|----------|--|
| 9        | 3          | 企業でもSDGsを意識した活動が始まっている。神奈川県でも積極的に取り組みを進めてほしいと思う。  | C        | <p>SDGsは、複雑化・多様化する社会的課題の解決に向けた包括的な取組であるため、具体的な活動内容、あるいは「自分ごと」としてのイメージが湧きにくい面があります。</p> <p>今回の「かながわSDGs取組方針」では、マイクロ・プラスチック問題への取組など、SDGsに関するテーマを設定し、具体的なアクションに、先行的に取り組むことで、SDGsを「見える化」し、SDGsの理念・目標の共有と、SDGsにつながる行動を促す内容といたしました。</p> <p>取組方針の策定を契機に、「いのち輝く神奈川」の実現に向けて、県、市町村、企業、大学、NPO、県民等のすべての関係者（ステークホルダー）と一体となってSDGsを推進してまいります。</p> |
| 10       | 3          | SDGs先進県として神奈川県が旗振り役となるのはよいことだと思います。SDGsという言葉がまだ広く認知されていないと思われるので、SDGsの取り組みごとにスタンプラリーをするなど、何かしらイベント化して親しみをもってもらえるといいのではないかと思います。 | C        | <p>本県では、「かながわプラごみゼロ宣言in鎌倉」の開催や「エコプロ2018」へのブース出展、県のたよりを活用した広報など、様々な機会を通じて普及啓発に取り組んでおります。</p> <p>スタンプラリーなどのSDGsを分かりやすく理解するためのツールについては、県が主催若しくは後援するイベント等において活用してまいりたいと考えております。</p>  |



| 延べ<br>件数 | 意見内<br>容区分 | 意見  | 反映<br>区分 | 県の考え方  |
|----------|------------|---|----------|--|
| 11       | 2、3        | <p>SDGsは、持続可能な開発のための2030アジェンダの一部です。アジェンダとは、行政計画ではなく、将来ビジョンを共有した市民・事業者・行政が価値を共創するため行動計画であることは、1993年に日本初のローカルアジェンダ21である「アジェンダ21かながわ」を策定した神奈川県ではよく理解しているはずですが、しかしながら、かながわSDGs取組方針(案)は、アジェンダの取組方針ではなく、単なる行政計画の指針に見えます。県民や県内の事業者と共有するビジョンがわかりませんし、そのビジョンを実現するために、県民や県内の事業者がどのような行動計画(アジェンダ)を設定すれば良いか、不明です。県の役割で書かれる(1)旗振り(2)率先(3)後押しには、いずれも県民や事業者との連携・協働のイメージが持てません。(1)旗振り(2)率先は県の単独事業、(3)後押しは後援名義を与えるだけに見えます。</p> <p>また1993年に策定した「アジェンダ21かながわ」が、「新アジェンダ21」では、単なる「環境行動チェックリスト」になってしまった実績がある以上、SDGsも同じ道をたどるのではないかと懸念しています。県民や県内の事業者や市町村とのビジョン策定やビジョンの問い直しに時間をかけて、ビジョンの内実を豊かにしてほしいです。</p> <p>質問です。</p> <p>(1)かながわSDGs取組方針(案)と、総合計画や環境基本計画などの個別計画との関係について教えてください。今後県は、SDGsを行政計画に採り入れていくのですか?採り入れるとしたら、どの計画に反映させるのですか?策定スケジュールはどうなっているのですか?</p> <p>(2)かながわSDGs取組方針(案)と「かながわ新アジェンダ21」の関係について教えてください。国連のSDGsはアジェンダの一部です。これに基づいた神奈川のSDGs取組方針(案)は、やはりアジェンダなのですか?県の行政計画なのですか?アジェンダとしたら、「かながわ新アジェンダ21」との関係はどうなるのでしょうか?</p> <p>(3)神奈川のSDGsの将来について</p> <p>神奈川のSDGsの取組は、国からの予算がつくモデル事業が終わっても継続するのでしょうか?国からの予算に依存しているため、モデル事業の資金が尽きれば、事業規模を縮小するのでしょうか?最初の3年間は予算がつくでしょうが、それ以降の2030年までの10年間、どの程度力を入れていくのでしょうか?</p> <p>また、SDGsを単なるチェックリストにしてしまう懸念もあります。神奈川県SDGs啓発チラシをみてそれは強まりました。</p> | E        | <p>(1)本県は、2012年3月に現行の総合計画「かながわグランドデザイン」を策定し、基本理念に「いのち輝くマグネット神奈川」を掲げ、様々な施策を推進し、将来に向けて持続可能な形を維持するため、総合的に施策を展開してきました。</p> <p>一方、持続可能な開発目標、いわゆるSDGsは、2015年9月に国連で採択された先進国を含む国際社会全体の目標であるが、その理念は、本県がこれまで進めてきた「いのち輝くマグネット神奈川」の取組と軌を一にするものと考えています。</p> <p>また、「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」の両方に唯一選ばれた都道府県として、今後、県の総合計画や各個別計画の見直しに当たっては、SDGsの視点を取り入れてまいります。</p> <p>(2)また、本取組方針ではSDGsを「見える化」するため、5つの具体的なアクションを掲げました。</p> <p>そのアクションの一つである「マイクロ・プラスチック問題への取組み」については、本年9月に「かながわプラごみゼロ宣言」を発表しました。改訂新アジェンダ21かながわの後継である「私たちの環境行動宣言 かながわエコ10トライ」は、SDGsと軌を一にするものであり、「マイエコ10宣言」〈プラごみゼロ宣言ver.〉を作成するなど、県民がSDGsに関する具体的な行動を実践してもらえる取組を行っています。</p> <p>(3)2020年までを当面の重点取組期間としておりますが、2030年までのSDGsの達成に向けては、SDGs先進県として一層取り組んでまいります。</p> |